



イベント 終了しました

演劇への入口講座 第7回 小鼓で楽しむ能 ～能の魅力

キーワード	日比谷カレッジ
内容	舞の動きに謡の音楽と、笛・小鼓・大鼓・太鼓による囃子の器楽演奏が加わって物語が進行していく日本固有の芸能である、能。囃子方はただの伴奏ではなく、シテや地謡と対峙し、舞台を構築していく大切な存在です。そんな囃子方のひとつ小鼓に焦点を当て、能を楽しむ第一歩を踏み出しませんか。
日にち	2016年10月08日（土） 14:00から16:00
日にち説明	13:30開場
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	1,000円（千代田区民500円）
講師・出演者	大倉源次郎/田村民子

プロフィール

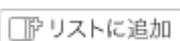
■大倉 源次郎（おおくら げんじろう）
能楽小鼓方大倉流十六世宗家。能楽小鼓方の第一人者。1957年大倉流十五世宗家 大倉長十郎の次男として生まれ、新作能、復曲能、海外公演に多数参加。2015年には観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞した。誰もが日本文化である「能」と気軽に出会えるよう、「能楽堂を出た能」のプロデュースなども行う。近年では、奈良県桜井市多武峰談山神社にて談山能の制作を担当。

■田村 民子（たむら たみこ）
「伝統芸能の道具ラボ」主宰。1969年、広島市生まれ。能楽や歌舞伎などの裏方、職人を主な領域とするライター。2009年より伝統芸能の道具の調査、作れなくなっている道具の復元を行う「伝統芸能の道具ラボ」を開始。東京新聞連載「能楽お道具箱」、『月刊観世』連載「能楽と職人たち」執筆。

主催	千代田区立日比谷図書文化館
問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2016年08月13日 10:00 から2016年10月08日 14:00
申込方法	①お電話（03-3502-3340）、②Eメール（college@hibiyal.jp）、③ご来館（1階受付）いずれかにて講座名（または講演会名）・お名前（よみがな）・お電話番号をお知らせください。

カレンダー表示	2016年 10月						
<input type="checkbox"/> イベント開催日	日	月	火	水	木	金	土
<input type="checkbox"/> 休館日							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

発信日	2016.08.13
-----	------------

 印刷  リストに追加

[ツイート](#)

